

2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2026年10月15日

東

上場会社名 株式会社バロックジャパンリミテッド 上場取引所
 コード番号 3548 URL <http://www.baroque-global.com>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）村井 博之
 問合せ先責任者（役職名）執行役員 経営企画室長（氏名）関 達也（TEL）03(5738)5775
 半期報告書提出予定日 2026年10月15日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年2月期中間期	23,469	△5.4	△904	—	△1,028	—	△1,495	—
2026年2月期中間期	24,801	△10.5	△77	—	△15	—	11	—

（注）包括利益 2027年2月期中間期 △1,490百万円（—％） 2026年2月期中間期 △732百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	△41.47	—
2026年2月期中間期	0.32	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年2月期中間期	29,421	12,000	40.8
2026年2月期	32,593	14,705	45.1

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 12,000百万円 2026年2月期 14,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2027年2月期	—	0.00			
2027年2月期（予想）			—	38.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	50,832	△1.3	111	△65.4	△39	—	△696	—	△19.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期中間期	36,676,300株	2026年2月期	36,676,300株
② 期末自己株式数	2027年2月期中間期	511,200株	2026年2月期	656,330株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年2月期中間期	36,053,051株	2026年2月期中間期	35,979,030株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を含めております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、中東情勢の混乱による原油価格の高騰や原油由来の原材料不足の影響により生産活動が制約されるなど、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。アパレル業界は、不安定な天候の影響や物価高に伴う生活防衛意識と選別消費のあおりを受け、夏場にかけて需要が失速するなど、全体の回復傾向とは対照的に非常に厳しい環境となりました。

（国内事業）

国内事業の売上高は、前年同期比94.1%（店舗94.9%、EC89.4%）となりました。FB・SBブランドは、すべてのブランドにおいて当中間連結会計期間の既存店売上高（SSS）が前年同期を上回りました。SCブランドにつきましても、RODEO CROWNS WIDE BOWLのSSSが二桁成長を維持しています。一方、AZUL BY MOUSSYは、マーケティング・商品見直しの効果により当中間連結会計期間の後半から客数が回復に転じましたが、前半の売上減少をカバーできていない状況です。百貨店ブランドも高額ブランドを中心に低迷を抜け出せておらず、また、6月に導入した新システムの初期トラブルによるECの出荷遅延も影響し、結果、全体の売上高が前年同期を下回りました。

売上総利益については、主力SCブランドにおける商品評価損拡大及びサプライチェーン全体のコスト上昇により前年同期を下回りました。

また、上記に伴い営業利益も前年同期を下回りました。

（海外事業）

米国事業については、卸売（高級百貨店、セレクトショップ向け）を中心としたビジネスモデルで日本製高級デニムを主とした販売に取り組んでおります。売上高は前年を上回りましたが、販売費及び一般管理費の上昇により前年比で減益となりました。尚、6月をもちましてニューヨークの直営店を閉店しております。

当中間連結会計期間末における店舗数につきましては、国内店舗数は326店舗（直営店251店舗、FC店75店舗）、同海外店舗数は4店舗（直営店0店舗、FC店4店舗）、合計330店舗になりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は234億69百万円（前年同期比5.4%減）、営業損失は9億4百万円（前年同期は77百万円の損失）、経常損失は10億28百万円（前年同期は15百万円の損失）、親会社株主に帰属する中間純損失は14億95百万円（前年同期は11百万円の利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて31億71百万円減少して294億21百万円となりました。これは、現金及び預金が34億65百万円減少したこと、売掛金が2億3百万円増加したこと、商品が1億26百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて4億66百万円減少して174億21百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が3億84百万円増加したこと、短期借入金が10億円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて27億5百万円減少して120億円となりました。これは、配当金の支払いにより資本剰余金が13億76百万円減少したこと、利益剰余金が親会社株主に帰属する中間純損失により14億95百万円減少したこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2026年4月14日付「2026年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表致しました、2027年2月期（2026年3月1日～2027年2月28日）通期の連結業績予想を修正致しました。詳細につきましては、本日（2026年10月15日）公表致しました「特別損失（減損損失）の計上並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,319	7,854
売掛金	2,442	2,645
商品	5,003	5,130
貯蔵品	64	57
その他	321	621
貸倒引当金	—	△6
流動資産合計	19,151	16,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,050	659
土地	350	350
建設仮勘定	5	26
その他(純額)	238	178
有形固定資産合計	1,643	1,215
無形固定資産		
ソフトウェア	507	3,325
ソフトウェア仮勘定	3,018	—
その他	0	0
無形固定資産合計	3,527	3,325
投資その他の資産		
投資有価証券	3,941	3,939
敷金及び保証金	3,100	3,103
繰延税金資産	1,156	1,494
その他	72	39
投資その他の資産合計	8,271	8,577
固定資産合計	13,441	13,118
資産合計	32,593	29,421

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,915	2,300
短期借入金	2,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
未払金	5,022	4,984
未払費用	589	515
未払法人税等	159	109
預り保証金	35	20
賞与引当金	121	153
資産除去債務	17	605
その他	247	272
流動負債合計	11,107	10,961
固定負債		
長期借入金	5,000	5,000
長期末払金	7	7
預り保証金	406	380
役員株式給付引当金	191	28
退職給付に係る負債	8	10
資産除去債務	1,160	1,029
その他	5	2
固定負債合計	6,779	6,459
負債合計	17,887	17,421
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,258	8,258
資本剰余金	5,705	4,315
利益剰余金	△75	△1,570
自己株式	△664	△489
株主資本合計	13,223	10,513
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,482	1,486
その他の包括利益累計額合計	1,482	1,486
純資産合計	14,705	12,000
負債純資産合計	32,593	29,421

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	24,801	23,469
売上原価	9,725	9,690
売上総利益	15,075	13,779
販売費及び一般管理費	15,152	14,683
営業損失(△)	△77	△904
営業外収益		
受取利息	36	69
為替差益	74	—
その他	20	21
営業外収益合計	132	91
営業外費用		
支払利息	39	59
支払手数料	2	3
為替差損	—	150
固定資産除却損	24	0
持分法による投資損失	—	1
その他	3	0
営業外費用合計	70	215
経常損失(△)	△15	△1,028
特別利益		
関係会社株式売却益	146	—
特別利益合計	146	—
特別損失		
減損損失	105	765
特別損失合計	105	765
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	25	△1,794
法人税、住民税及び事業税	61	45
法人税等調整額	△46	△344
法人税等合計	14	△299
中間純利益又は中間純損失(△)	11	△1,495
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	11	△1,495

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益又は中間純損失(△)	11	△1,495
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△341	91
持分法適用会社に対する持分相当額	△402	△87
その他の包括利益合計	△743	4
中間包括利益	△732	△1,490
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△232	△1,490
非支配株主に係る中間包括利益	△499	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	25	△1,794
減価償却費	427	458
減損損失	105	765
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	31
受取利息	△36	△69
支払利息及び支払手数料	42	62
為替差損益(△は益)	△31	△12
持分法による投資損益(△は益)	—	1
有形固定資産除却損	24	0
売上債権の増減額(△は増加)	△602	△194
棚卸資産の増減額(△は増加)	195	△121
仕入債務の増減額(△は減少)	△141	365
未払金の増減額(△は減少)	89	△151
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1	2
関係会社株式売却損益(△は益)	△146	—
その他	379	△52
小計	335	△707
利息の受取額	36	69
利息の支払額	△40	△61
法人税等の支払額	△88	△72
営業活動によるキャッシュ・フロー	242	△772
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△330	△104
無形固定資産の取得による支出	△214	△291
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	1,836	—
敷金及び保証金の差入による支出	△46	△61
敷金及び保証金の回収による収入	72	60
その他	△32	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,286	△420
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,000	3,000
短期借入金の返済による支出	△2,000	△4,000
配当金の支払額	△1,376	△1,376
リース債務の返済による支出	△28	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,405	△2,407
現金及び現金同等物に係る換算差額	△207	135
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△84	△3,465
現金及び現金同等物の期首残高	11,305	11,319
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,221	7,854

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

当中間連結会計期間において、新たな情報の入手に伴い、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用について見積りの変更を行いました。この見積りの変更に伴い増加額467百万円を資産除去債務に加算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは、衣料品等の企画販売を単一の報告セグメントとしております。その他の事業については、量的に重要性が乏しいため、記載を省略しております。